

忘年会

早いもので2025年も残りわずかとなりました。年末までに皆さんも何回かは参加する忘年会についてです。元々忘年会の源流は「年忘れ（としわすれ）」と呼ばれる文化にあり、室町時代の連歌師たちが年末に集まり酒宴を開いて一年の苦労を忘れようとしたのが最初とされています。

起源は室町時代で有名な連歌師宗祇が開催した「年忘れの会」が記録に残っていて、当時は知識人や武士による文化的な集まりに近いものだったようです。そこから江戸時代には宴会文化が大きく発展し、この頃から庶民の間にも「年忘れの酒宴」が浸透していきます。商人や職人の間で、仲間同士の慰労会として開催、落語の演目にも「年忘れ」の様子が出ており、また目的は「1年の苦労を忘れ皆で楽しむ」という現在と同じものになっていきます。

明治～大正時代には組織の行事へ変わり、近代企業や官庁が成立すると、忘年会は職場の恒例行事としての色合いが強めます。昭和以降は全国的な習慣になり戦後の高度経済成長期には、忘年会は全国で広く行われるようになり、日本の年末行事の代表格になりました。

そして、平成～令和には生活スタイルの変化により、忘年会文化も変わっています。特にコロナ禍ではオンライン忘年会が登場しました。やはり忘年会は昔から一貫して「1年の苦労や嫌なことを忘れ、新しい年を気持ちよく迎える」という文化だと思います。

鎌野



中国の脅威

中国の脅威が日に日に増していますが、中国国内での問題の目をそらすために日本への威圧行動をとっている気がします。経済的にも内政的にも問題が山積みな中国は、いつ経済が破綻してもおかしくないし、いつ紛争を始めてもおかしくない危機的状况なのだとおもいます。日本は有事に備えて、様々な手を打っておく必要があると思いますね。

日本の株が5万円を超えましたが、一説にはいままで、中国に流れていた投資が、その危険性を感じて日本株に移動してきているという話もあります。さすがに日本株の5万円は高すぎるとは思います、金も1グラム2万2千円にまで値上がっており、世界情勢がいかに危うい状況かが分かりますね。

日本は核兵器を持つわけにはいきませんが、自分達で出来る限りの備えをしておかなければ心配な世情となりました。アメリカがいざというときに、本当に助けてくれるかは、分かりませんからね。

英樹



配り

第
319
便

勝亦製材駿河鉄骨(株)

住まい塾御殿場教室
TEL (0550) 87-0048
FAX (0550) 87-1237
〒412-0035 御殿場市中山518番地



上口のぬかるんだ土に蹄跡
毎夜カッポの鹿の一頭
ねがみともみ



ガソリンがお安くなると聞きしより
財布のひもが無闇にゆるむ
勝亦 りつ子



パンダ

ジャイアントパンダ（以下パンダ）が日本から居なくなります。2026年1月下旬に中国に返還されることが決まっています。パンダは中国四川省などの山奥に生息する固有種で日本の動物園で飼育しているパンダはすべて中国からレンタルされていたものなんですね。日本で繁殖させたパンダも中国に返さないといけないという約束になっていて、現在上野にいる二頭のパンダを返還すると国内でパンダを観ることが出来なくなります。政治的な思惑があり今後パンダを国内で観ることが出来るようになるのかが判りません。上野動物園では12月の週末、パンダを見るために4千人以上が訪れて長蛇の列を作ったようです。そんなパンダが世に広まったきっかけは「1869年3月、フランス人宣教師のアルマン・ダヴィドが、現在の中華人民共和国四川省にて地元の猟師が持っていた白黒模様のパンダの毛皮を欧米人として初めて発見。後日、パリの国立自然史博物館に毛皮と骨などを送った。これがきっかけとなってジャイアントパンダの存在が知られるようになった」（Wikipediaより引用）のだそうです。比較的最近になって知られる様になった動物なんですね。そしてこのジャイアントパンダが見つかる以前にも、実はパンダが居たんです。みなさん二本足で直立する姿が話題になった風太君を覚えていますか？そう、あの「レッサーパンダ」が初代パンダだったのです。初めはそれぞれがパンダとジャイアントパンダだったのですが、ジャイアントパンダの方の知名度があがり、パンダ＝ジャイアントパンダで認知されてしまったので混乱を避けるために初代パンダを「小さい」という意味のレッサーを付けて呼ぶようになりました。このレッサーパンダも中国・インド・ネパールなど高山の森林に生息していて絶滅危惧種に指定されている生き物です。このレッサーパンダは国内の動物園で観ることが出来ます。静岡の日本平動物園は日本初の人工哺育に成功し国内屈指の飼育・繁殖拠点になっており「レッサーパンダの聖地」と呼ばれています。寒さに強いので冬でも活発に動く姿を見せられます。元祖パンダの方も観に行ってみてください。可愛いですよ。



柳田敏和

2025 年師走



まったく早いもので2025年も残りわずかとなりました。つい最近餅つきをして、かつたるいなお〜でも、美味しいなあ〜と思ったんですけど。一年過ぎてしまった。また餅つきだ。臼と杵。

“やりたいと思ったこと、行きたいと思ったときはとにかくやってみる”。と自分に言い聞かせ、振り返ればやれることはやってみた。だが、断捨離は思うようにいかない。物が減らない・・・おかしいな。ミニマリストとまではイケナイが。物を探す時間を短くしたいのだが・・・おかしいな・・・減らない。方向音痴3人が集まっても、お口があるのでなんとかなることは理解した。一人で行けるかどうかはこれから試してみるつもり。つ・も・り。俳句の投句はしているが、添削はないので、夏井さんの句会に入会しようと思ったが実行できていないのでこれも実行する。それと一番重要なこと、筋肉が足りないので、筋トレはハードルが高そうだが、歩くくらいならね。考える前に歩こう。頭も身体も使わないと、衰える。新しもの好きだが継続が苦手・・・。三つ子の魂百まで、とはよく言ったものです。

『満足しない向上心と割り切る力と落ち着いている心』スキージャンプの小林陵侑さんの言葉勉強になります。年を重ねると割と考え方物のとらえ方に今までの経験が重なって型にはめ込む傾向があるなあ。と自分や周りを見ると感じます。まあ危機管理的には経験がものをいう場合も多々あるかと思いますが。わからないことはすぐ聞いて、うるさいなあ。と相手を感じているかもしれないが気にせず。っと、ここがおばさんなんだよね。自分で考えます。頑張ります。いろいろ。

2025年師走です。お体に気を付けて良い新年をお迎えください。

ねがみ



年末

今年も残すところわずかとなりました。振り返れば、日々の忙しさに追われながらも、小さな喜びや成長の瞬間がいくつかあったように思います。(たぶん)

年末は、杉田時間を静かに見つめなおし、感謝の気落ちを整理する良い機会です。しかし、やり残したこともたくさんあり、反省の機会でもあります。年末年始のお休みの間に、後回しにしたお片付けと換気扇の掃除をしよう！…と決意したところであります。

祥子



新しい年が皆さまにとって穏やかで実りの多い時間となりますように。